

※新型コロナウイルス感染拡大の影響を踏まえ、情勢によっては、事業の延期または中止となることもございますので、予めご了承願います。予定変更の際は、お申込された方にご連絡いたします。

会員各位

共催：一般社団法人茨城県経営者協会
国立大学法人筑波大学

カフェテリアセミナーのご案内

「健康機能性食品だけじゃない、 ゲノム編集でできる最先端品種改良」

～筑波大学 生命環境系 江面教授と共同研究をしませんか？～

授粉の手間がいらないトマト、人工甘味料の代替になるような甘み成分を生み出すトマト、日持ちが良いトマト——。筑波大学では有用な性質を持つ遺伝子を次々と突き止め、「ゲノム編集」技術を用いて様々な品種改良したトマトを生み出してきています。その中でも、血圧上昇抑制効果が期待できる GABA を多く含んだトマトの製品化はすぐそこまでたどり着いている状況です。

このような研究を筑波大学で実施している生命環境系の江面教授が、ゲノム編集でできる品種改良の最前線について、その他、農業の省力化技術、機能性植物の開発に向けた基盤的共有技術研究の最先端について解説いたします。また、これら研究を共同で実施する（国補助50%）企業も募集しておりますので、その内容についても解説いたします。

セミナーを聴講いただき、その後「カフェでコーヒーを飲みながら」のイメージで江面教授とのディスカッションを予定しております。次代のビジネスとして「ゲノム編集」にご興味のある経営者の皆様、お気軽にご参加ください。

講師：江面 浩（えづら ひろし）氏

筑波大学生命環境系教授/つくば機能植物イノベーション研究センター(T-PIRC)センター長

1982年筑波大学第二学群生物学類卒業、1986年同大学院生物科学研究科単位取得退学、茨城県園芸試験場技師、2000年筑波大学助教授、2005年同教授、2017年同つくば機能植物イノベーション研究センター長、現在に至る。主にトマトなど重要果菜類を対象に、次世代遺伝資源の開発、それら次世代遺伝資源を活用した重要育種形質（日持ち性、単為結果性、高糖性、機能性物質蓄積など）発現の分子機構の解明、得られた知見を活用した分子育種技術の開発および社会実装を目指した産学連携研究、近年では開発された高付加価値作物のAI・ロボットを活用した次世代栽培技術（サイバニックス化温室）の開発、などに従事。日本植物細胞分子生物学会技術賞（日本植物細胞分子生物学会）等受賞歴多数。著書：ゲノム編集技術によるトマトの果実デザイン等。

■日時：令和2年11月12日（木）

14：00～15：30 受付開始13：30

■会場：常陽つくばビル8階83研修室（つくば市吾妻1-14-2 Tel：029-851-2151）

■参加費：無料

※駐車場は近隣のコインパーキングをご利用願います。

■申込方法：下記「参加申込書」に必要事項をご記入のうえ、FAX（029-224-1109）

またはEメール（satou@ikk.or.jp）にてお申込み下さい。

※最少催行人数（5人）に満たない場合、中止となることもございますので、予めご了承願います。

■お問合せ：一般社団法人茨城県経営者協会 事務局 佐藤（TEL：029-221-5301）

国立大学法人筑波大学 T-PIRC URA 伊藤（TEL：029-853-6620）

茨城経協（FAX：029-224-1109）行き ※参加票・地図等は後日送付させていただきます。

カフェテリアセミナー（11月12日（木））参加申込書（10/28（水）締切）

会社名		TEL	
住所	〒	Eメール	
所属・役職名		参加者氏名	
所属・役職名		参加者氏名	

※今回の参加者のデータにつきましては、本セミナーに関する連絡及び参加者・講師への名簿配布以外の目的では使用しません。また、細心の注意をもって管理し、個人情報の漏洩、紛失、き損又は参加企業の権利利益を損なうことの無いよう努めます。